

## 評価証

第14003号

### 【技術の名称】

防潮壁用枠付き透明窓「シーウォール」

#### 1. 依頼者

法人の名称 エステック株式会社  
住 所 大阪市西区京町堀1丁目11番1号

#### 2. 評価の前提

本技術の適用にあたっては、本報告書の留意事項の他、依頼者が推奨する方法で使用されるものとする。

#### 3. 評価の範囲

評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、施工実績の結果により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書（第14003号）に示す。

#### 4. 評価の結果

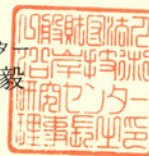
- (1) 施工性を良くするための枠付き構造であり、維持管理性を高めるため透明樹脂板が取り外し可能であることが確認された。
- (2) 水深 10m に相当する静水圧を作用させた実験においても、漏水量は  $6.10 \times 10^{-8}$  (m<sup>3</sup>/m/s) であることが確認された。
- (3) 主な透明樹脂板であるアクリル又はポリカーボネートの温度変化による伸縮に対して、部材に孔を空けることなく枠部分にて吸収できる構造であることが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は5年間とする。

平成 27年 5月 14日

一般財団法人 沿岸技術研究センター  
代表理事・理事長 川島 毅



# 港湾関連民間技術の確認審査・評価委員会

## 委員編成

委員長 善 功企 九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 特任教授

委員（現委員五十音順）

遠藤 仁彦 国土交通省 港湾局 技術企画課	技術管理室長
大即 信明 東京工業大学 大学院理工学研究科	教授
清宮 理 早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科	教授
栗山 善昭 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所	研究主監
小泉 哲也 国土交通省 国土技術政策総合研究所	港湾研究部長
小林 正樹 公益社団法人 日本港湾協会	評議員
佐藤 孝夫 一般財団法人港湾空港総合技術センター	業務執行理事
鈴木 武 国土交通省 国土技術政策総合研究所	沿岸海洋防災研究部長
鈴木 雄三 一般社団法人 日本埋立浚渫協会	企画部長
松永 康男 国土交通省 関東地方整備局	港湾空港部長
山本 修司 一般財団法人 沿岸技術研究センター	業務室長
事務局	研究主幹
佐々木 宏 一般財団法人 沿岸技術研究センター	主任研究員
山本 隆信 一般財団法人 沿岸技術研究センター	